

第8回 「新しい公共」円卓会議 議事録

1 日時： 平成22年6月4日（金）8:32～8:56

2 場所： 官邸4階 大会議室

3. 出席者：

（委員出席者）

市村 良三 長野県小布施町長
井上 英之 慶應義塾大学総合政策学部専任講師
小城 武彦 丸善(株)代表取締役社長
小栗 泉 日本テレビ報道局記者
海津 歩 (株)スワン代表取締役社長
金子 郁容 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科教授
金田 晃一 武田薬品工業(株)コーポレート・コミュニケーション部シニア・マネジャー
佐野 章二 ビッグイシュー日本代表
島田 京子 日本女子大学共同教職大学院設置準備室室長
寺脇 研 京都造形芸術大学芸術学部教授
福嶋 浩彦 前我孫子市長
堀 久美子 UBS証券会社 コミュニティ アフェアーズ マネージャー

（政府出席者）

鳩山由紀夫 内閣総理大臣
菅 直人 副総理
仙谷 由人 内閣府特命担当大臣（「新しい公共」）
枝野 幸男 内閣府特命担当大臣（行政刷新）
松井 孝治 内閣官房副長官
大島 敦 内閣府副大臣
大塚 耕平 内閣府副大臣
渡辺 周 総務副大臣
峰崎 直樹 財務副大臣
鈴木 寛 文部科学副大臣
泉 健太 内閣府政務官
逢坂 誠二 内閣総理大臣補佐官

4. 議題：

・とりまとめ

○金子座長 ただいまより第8回「『新しい公共』円卓会議」を開会いたします。

本日は、秋山委員、大西委員、谷口委員、新浪委員、福原委員、横石委員、渡邊委員が所用により欠席されております。

今日もインターネット中継及びユーストリームの会議の様態を中継いたしており、会議終了後、内閣府ホームページで動画配信を予定しております。

早速議事に入ります。「新しい公共」宣言のとりまとめを行います。

前回、5月14日の会議において、文案についておおむね合意をいただき、残る修正を座長である私に一任していただきました。

私の方で、その後、若干の表現の修正を行ったところでございます。

また、政府の対応のペーパーにつきましても、前回会議から期限など、可能な限り具体化させているところでございます。お手元にあるとおりです。また、ネットの方にも載せております。

それでは、この「新しい公共」宣言の署名をいたします。

それでは、総理一言お願いいたします。

○鳩山総理 おはようございます。今年の1月に「新しい公共」の円卓会議がスタートいたしました。それ以来、委員の皆さん方には、大変熱心に、ほぼ毎週のような駆け足の議論ではございましたが、円卓会議に参加をさせていただいたことを心から感謝をいたしております。今、「新しい公共」の宣言に皆様方が御署名をいただいたということでございます。

副総理はまだですかね。一番注目されている方だったので。

今日まで、8回の議論だけではなくて、公式、非公式、深夜に及ぶ議論までしていただきました。

本来、今までいわゆる官の力が強くて、なかなか公が開かれていなかったと、これをやりさまざま開いていくべきだという議論からスタートいたしました。

実際には、もう既に日本は、特に江戸時代などを中心に、こういった新しい公共は得意技であるというような話から議論がどんどん進んでいったと思います。

そして、この国において、今、どういう「新しい公共」が必要なのか、何をどういうふうに変えていくのかといういろんなさまざまな議論を皆様方に進めていただくことができました。

その間、金子郁容座長の大変優れた識見とリーダーシップの下で、皆様方も熱心に議論に参加をさせていただいて、今回、このような形の宣言文がまとめられたことになりました。御協力いただいた皆さんに、改めて心から感謝を申し上げたいと思います。

この「新しい公共」の考え方、宣言がまとめられた以上、新しい政権が誕生する日でございますが、この思いは、必ず受け継がれていかなければなりませんし、そうでなければ、皆様方の今日までの御努力が何だったのかということになります。

だからこそ、間に合って、宣言がとりまとめられてよかったなど、そのように、大変私にとってもうれしく感じているところでありまして、政府としてもでき得る限り、当然のことながら、この宣言文に盛り込まれております内容を果たしていくために全力を尽くしてまいります。

ただ、これは政府の役割だけではないぞというのが「新しい公共」の極意だと思っております、皆様方が、新しい時代を開く先兵だという御認識の中で、今日まで、御協力、御活躍いただいたこと

を感謝申し上げながら、それぞれのお立場で、更に御活躍をいただいて、やはり新しい政治が生まれてきているなど、そのように実感していただけるよう、皆様方だけが実感していただくのではなくて、国民の皆様方が、それこそ小さなお子さんからおじいちゃん、おばあちゃんに至るまで、政治がこのとき変わっていたんだねと、5年、10年経って、そのように実感となって必ず表れていくと思っています。

そうなるために、これまで議論をいただいたことにまた改めて厚く御礼申し上げます。是非皆様方が、さらなる御活躍をされていかれますように、心からお願い申し上げ、改めて金子郁容座長の献身的な御努力に、私ども一同、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。(拍手)

(報道関係者退室)

○金子座長 ありがとうございました。私は、こういう署名というのは、初めてで、うまくかけず、なんだか私だけ字が大きくなってしまって、申し訳ない。慣れないもので。

今日、皆様が御存じのように、これから鳩山総理は日程がございます。8時55分には必ずここを退室しないとなりません。それまでしばらく時間がございますので、皆様方から一言いただければと思います。政府側の今日いらっしゃる方々からも一言いただきたいので、本当に一言ずつとなってしまうけれども、どなたでも結構でございます。順番に回すということは致しませんので、手を挙げて御発言いただければと思います。

井上さん、お願いします。

○井上委員 本当にこの機会、皆様、それから政府の関係者の方、民主党の皆さん、それから総理、本当にどうもありがとうございました。

Twitter等でもいろいろな声に来ておまして、それこそ私たちはこの瞬間、この瞬間を見ていましたと、聞いていました。この席にTwitterもしくはさまざまなメディアを通じて、一緒に見ていた。この時間を一緒に体感したんだということです。

総理は辞任されるということを受けて、メディアが報じている以上にTwitter等を見ていると、別の世論がもう一つあって。これを受けて、「さあこれからはおれたちだ」と、これから動き出そうという方々がたくさんいて、間違いなく、この円卓会議を受けて、何か受け取って動き出そうという人たちがいるということ、ここで改めて確認して、「ここから始まるのだ」という決意を皆様と共有したくて、この時間をいただきました。本当にありがとうございます。これからだと思います。どうもありがとうございます。

○金子座長 寺脇さん、お願いします。

○寺脇委員 本当に短期間のうちに、金子座長、大変な御苦勞をなさったのは勿論ですけれども、事務局も大変だったのではないかと思います。私は、随分この事務局に対してはきついことを申しました。

というのは、やはり何だかんだ言っちゃって、これをつないでいって、実現していくためには、政府の職員も努力をしていかなければいけない。いろんなことが言われています。官僚が抵抗して、なかなか総理の思ったとおりのことができないなんてことを言われますが、私が見ていると、そうではなくて、新しいやり方に戸惑っているんだなという気がします。審議会の委員と言えば、財界の重鎮と

か、そういう人たちが集まる場所、私どものような基盤もないNPOの人間が集まって、かつ極めて重要な議論をするというような経験というのが、今まで霞が関にはなかったので対応ができない。ですから、恐らくほかのことも抵抗勢力ということではなしに、新しいやり方がまだよくつかめなくて戸惑っている部分が多いのではないかと思います。そういう意味では、この経験を生かして、今後また当然こういう官僚中心主義を変えていく行政の仕方は続いていくわけですから、この経験が事務局の皆様方にも蓄積され、共有されて、日本の行政が変わっていくということにも、これが役に立ったということになれば、幸いだと思っております。というのは、ほとんどいつもひどいことばかり言ってきたおわびのつもりでございます。

○金子座長 ありがとうございます。島田さん、お願いします。

○島田委員 本当にありがとうございました。「新しい公共」という、これから日本の市民社会を変えていく基本となる方針だと思います。その意味でも、私も大変勉強させていただきました。

今日は僭越ながら、福原委員と連名の意見書を出ささせていただいております。今日、皆さんと署名しました宣言書を、より実効の高いものにするために、まだ十分な議論がされていないところもございますが、今後具体的に検討される予定の政府対応案に生かしていくためにも、先ほどTwitterのお話もありましたが、是非この後、それ以外の方たちからも広くパブリックコメントを求めていますと思っております。

今日は福原さんがいらっしゃいませんけれども、代わりまして、私からも是非お願いしたいと思っております。

○金子座長 ありがとうございます。堀さん、お願いします。

○堀委員 本当にありがとうございました。とても私もいい機会を与えていただいて、これからも企業の側で、この「新しい公共」をもっと進めていきたいと思っております。

また、政府の対応の文書に関しましては、私も福原委員、島田委員と同じ意見でございます。是非、今後御検討いただければと思います。

それから、前回、どなたかがおっしゃっていらしたと思うんですが、せっかくこの宣言をまとめ上げたものですので、是非日本でこれからやっていくぞという意味も込めて英語にして世界に発信いただければと思います。

○金子座長 ありがとうございます。佐野さん、お願いします。

○佐野委員 ありがとうございます。今回の円卓会議は、今日で一応終わるわけですが、5月半ばに京都で高校2年生の人の呼びかけで、円卓会議もジョイントいたしまして、会議をいたしました。議論がすごく盛り上がりまして、それで高校生が中心になっていろんな人たちを集めて、議論を継続していく場がつけられました。

先月5月29日の土曜日にも、そういう人たちを、大阪の釜ヶ崎という、ホームレス人たちがたくさんいるところに連れていきました。私は、この円卓会議にこういう形で出させていただいて、発言して、すごく感謝もしておりますし、今回、これで終わるので、内心ほっとしております。これで終わったというふうに思っておりますけれども、京都とか関西では、高校生を中心に、新たに会議が始まってしまいました。

これは、別に円卓会議とか、そういうふうな上段に振りかぶるのではなくて、そこでできた若い人たちのお付き合いという形で、できることをしていきたいと思っております。

どうもありがとうございました。

○金子座長 福島さん、お願いします。

○福島委員 本当にありがとうございました。今日が、また新しいスタートだと思いますので、この宣言を本当に中身のあるものにしていくには、普通の市民一人ひとりがどれだけ変われるかだと思うんです。そのためにも、私も自分の場所で、これからも頑張っていくという決意だけ表明して、最後の発言にさせていただきます。

○金子座長 ありがとうございます。では、仙谷大臣、お願いします。

○仙谷内閣府特命担当大臣 余り完全には出席できなかったんですが、金子郁容座長の強力なリーダーシップの下に、御出席の皆さん方の大変実践に基づいた御見識をいただき、私も世界が広がったような気がいたしております。

そして、私は成長戦略も担当していたわけでありますが、多分この論議は、資本主義の新しい形あるいはかぎ括弧付きの「新しい成長」という問題、更にはこの会議の事務局と同じ部局で幸福度調査を実施して、最初の足を踏み出すようなこともさせていただいたんでありますが、そういう人間が何をもって幸福を実感しながら生きていけるのかということも含めて、諸課題は多いわけでありますが、これから広がっていく議論をしていただいたんだと。

昔から日本には市民社会が育っていないという議論がありましたが、随分全国各地いろんなところで、自立的な市民社会がつくられつつあると。それを担う人々が創出をしつつあるということを実感いたしました。

政策的には、私が最近思いつていることは、そういう場には、必ずキーマンがいらして、更には数人いる場合もある。そういう人たちをエンカレッジするような国の支援策というのはないだろうかということを考えておまして、今後とも皆さん方の情報や御見識、御意見をいろんな形でお願いをすることになるかと思っておりますので、どうか御指導いただけますようお願い申し上げます、お礼の言葉に代えたいと存じます。

松井官房副長官、それからこの「新しい公共」の場を設定された鳩山総理大臣に心から敬意を表しながら、皆さん方に感謝の言葉といたしたいと思っております。どうもありがとうございました。

○金子座長 あと4分でございます。御発言いただければと思います。小城さん、次に海津さん、お願いします。

○小城委員 本当にありがとうございました。私は、企業経営者という立場でお呼びをいただきまして、本当に企業も「新しい公共」の担い手の1つであるということが書かれたことは大変意義があったなというふうに思っております。

是非、私も個人として、この円卓会議の志を継いで、稼ぎと務めを両方果たせるような企業経営をやってまいりたいと、ここでお約束をしたいと思っております。本当にありがとうございました。

○金子座長 ありがとうございます。海津さん、お願いします。

○海津委員 どうもありがとうございました。あったらいいな、してほしいということ、今までは

行政に任せて、もしくは待っている、また出てきたものにけちをつけるというような時代から、今は自助を前提として共助、そして最後に公助といったメンタリティー、それから、実際に動いている人たちが、もういるんだということも、広く知らしめる場になったとっておりますので、私も一国民として、できることを身の丈で広めていく、やれることはやっていくという形で大きなムーブメントにしていきたいと思っております。どうもありがとうございました。

○金子座長 ありがとうございます。小栗さん、お願いします。

○小栗委員 皆さん、本当にどうもありがとうございました。金子座長にお声がけいただいて、この円卓会議に参加させていただいたんですが、現役の記者ということもありまして、民主党とどういふふうに分野の位置関係を取っていくべきか、というところで悩みながら、という部分もありましたし、専門家の皆さんの中で、では、全くこの分野は素人の私が何ができるか、内向きになりそうなときに、何か一般の人たちの見方みたいなことを提示しようと思っておりましたけれども、なかなか力尽くせない部分がありまして、本当に申し訳ありませんでした。

ただ、すごく私自身、皆さんのこういった活動というのが広がっていることは勉強になりましたし、私の会社の中でも、若い人たちがこの円卓会議に物すごく関心を持って企画をつくろうというようなムーブメントができてきています。

先ほど井上委員の方からメディアとは別にいろいろな発信というのがあるということがありましたけれども、メディアとしても、ますますこういったことを広げていくように微力ながらやっていきたいと思っております。本当にありがとうございました。

○金子座長 ありがとうございます。金田さん。

○金田委員 鳩山総理を始め、とりまとめの金子座長、本当にありがとうございました。

私の方は、CSR、企業の社会的責任という形で関わらせていただきましたけれども、この円卓会議の中で、企業がどういった形で社会に貢献していくかというアプローチ、すなわち、それが本業であり、社会貢献活動であり、または、事業プロセスの中において、さまざまな負荷を社会にかけないようにする活動など、さまざまなアプローチがこの中で議論できたと思っております。

今回、政府、企業、NPO、そして社会起業家など、さまざまなアクターが勢ぞろいしたわけですが、ISO26000が年内にまとまる予定です。セクターを超えて、さまざまなアクターがどうやって社会に責任を果たしていこうかという議論がこれからちょうど出てきますので、いいタイミングにこういった円卓会議が開かれたと思っております。本当にありがとうございました。

○金子座長 菅副総理、一言お願いします。

○菅副総理 一番出席の悪かった一人でないかと思っておりますが、この「新しい公共」、まさに鳩山総理の大変思い入れの濃い中で、金子座長にここまで進めていただきました。

私もやはり人を孤立化させない社会というのを、特に今の時代、何か家族制度とか、いろんなものがある意味では崩れたというのか、それを脱却した後に来たのが、砂漠のような、個人個人が孤立して、悲惨な状況で多くの人が亡くなっていくという、やはりそれは大きな社会的な問題だと改めて感じさせていただきました。どういう形であるかは別として、総理の問題意識やこの場の御活動につきましては、次の機会があれば、その実現に全力を挙げたいと思っております。

○金子座長 ありがとうございました。では、鳩山さん、最後に一言お願いします。

○鳩山内閣総理大臣 金子座長を始め、委員の皆さん方が積極的に参加をしていただいたことが結実としたこと、本当にうれしく思っています。

昔のよさというものに学びながら、新しい未来を切り開いていくと、こんなにすばらしい話はないと思っていまして、皆さん方とともに私もこの「新しい公共」に少しでも携わることができたということ喜びとしたいと思っております。

本当に皆さんの今日までの大変な御努力に心から敬意と感謝を申し上げます。ありがとうございました。（拍手）

○金子座長 ありがとうございました。それでは、これにて「新しい公共」円卓会議を終了いたします。皆様、本当にありがとうございました。